

茨城県農産加工品コンクールで 茨城県農林水産部長賞を受賞

農産加工活動を発展させ、儲かる農業の推進に寄与することを目的に開催された、平成27年度茨城県農産加工品コンクールで、さわらや農園の橋本和子さん（下加賀田）が出品した「緑米甘酒」「黒米甘酒」が優秀賞にあたる茨城県農林水産部長賞を受賞しました。

今回受賞した商品は、自家生産した古代米と米麹だけを使用した無添加の甘酒で、笠間市ブランド農産品「かさまの粋」にも認証されています。橋本さんは、「これからもさらに農産物の加工に取り組み、笠間を代表する商品づくりを念頭にがんばります。」と抱負を語りました。



橋本さんと山口市長

電気自動車を3年間無償貸与

2月15日（月）、日産自動車株式会社が「電気自動車活用事例創発事業」で行う、電気自動車「日産e-NV200」（二酸化炭素をまったく排出しないエコカー）の3年間無償貸与式が行われ、茨城日産自動車株式会社の加藤啓進会長から山口市長へ、スマートキーが手渡されました。

この事業は、地球温暖化対策の一環で全国的に展開されている事業で、1都道府県あたり2台程度貸与されています。

今後は、公用車としてイベント等で使用するほか、100Vの電源としても利用ができるので、災害時の備えとして活用していきます。



加藤会長（右）と山口市長

テレビを寄贈

3月19日に合併10周年を迎える笠間市に対し、株式会社常陽銀行から、テレビが寄贈されました。

市長へ目録を手渡した伊藤克彦常務取締役は「常陽銀行も今年度80周年を迎え、地域がさらに元気になるよう、これからもさまざま形で貢献していきたい」と話されていました。

寄贈していただいたテレビは、笠間市役所岩間支所に設置し大切に使わせていただきます。



伊藤常務と山口市長

笠間初午いなり寿司まつりを開催

2月7日（日）、笠間稲荷神社境内で、「笠間初午いなり寿司まつり」が開催されました。このイベントは、笠間いなり寿司いな吉会や笠間稲荷神社門前通り商店街協同組合が中心となり、いなり寿司による笠間の活性化を図るため、平成19年から毎年開催しているものです。

当日は、新作いなり寿司などを販売する「おやすみ処 いな吉庵」が限定オープンしたほか、「長～い、そばいなり寿司巻き」に挑戦。参加した約240名が力を合わせ、過去最長となる71.8mのそばいなりが完成しました！

応援に駆けつけてくれた、笠間サポートーズのパンチ佐藤さんから、記録が発表された瞬間、参加した皆さんから大きな歓声が上がり、会場は大変な盛り上がりに包まれました。



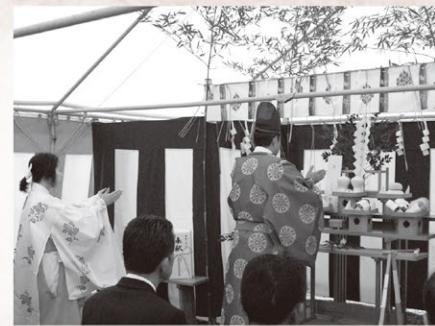
全員で持ち上げに成功

笠間市地域交流センターともべ起工式

1月29日（金）、友部駅南口に新設される笠間市地域交流センターともべの起工式が執り行われました。

起工式には、笠間市議会議長および副議長を来賓に迎え、山口市長や関係者約30名が参加し、工事の安全を祈願しました。

地域交流センターは、地域の自治会活動など地域コミュニティ活動の拠点とし、市民活動やNPO活動の情報交換・情報発信の交流の場とするものです。完成は、平成28年12月ごろを予定しています。



起工式の様子

車いすを寄贈

2月16日（火）、岩間グラウンド・ゴルフ協会から会長の藤枝好博さん、副会長の福田 稔さんと田山健次さんが表敬訪問され、車いす2台の目録を市長へ手渡しました。

寄贈された車いすは、協会が約3年前から始めた、各大会でホールインワン1回につき100円ずつの寄附を募って運営している「ホールインワン基金」で購入したものです。

寄贈された車いすは、市民センターいわまや岩間保健センターで、有効に利用させていただきます。



左から福田さん、山口市長、
藤枝さん、田山さん

茨城県果樹生産力向上共励会（くり）表彰

果樹の栽培管理の励行と生産意欲の向上を目的に開催された、平成27年度茨城県果樹生産力向上共励会（くり）において、金子祥一さん（平町）が1等にあたる農林水産大臣賞を受賞しました。同じく2等にあたる茨城県農林水産部長賞に柴田卓哉さん（湯崎）、茨城県農林振興公社理事長賞に諸星一郎さん（笠間）が受賞しました。

受賞された3名の方々は、「これからも栽培技術の向上を目指し、栗産地の発展に貢献していきたい。」と抱負を語ってくれました。



左から柴田さん、山口市長、
金子さん、諸星さん

KASAM
TOP

まちの

茨城県知事賞を受賞

茨城県下水道促進週間コンクール展において、標語部門で応募総数13,437名の中から須藤彩望さん（友部小2年）が知事賞準特選に、また絵画・ポスター部門で応募総数5,528名の中から飯村のえるさん（笠間小5年）が佳作にそれぞれ入賞し、茨城県知事から表彰されました。

このコンクールは「下水道の日」にちなんで小中学校を対象に作品を募集し、下水道に対する理解を深め、その普及と環境改善を図るため毎年実施しています。



飯村さん



須藤さん